

# 一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 25 年 8 月 23 日

議席番号

10 番

東村山市議会議長 様

質問者

石橋 光明

## 記

番号	質問の項目と要旨
	<p>1.人口減少の影響と定住意向について</p> <p>① 総合計画では人口は微増傾向と見込んでいた。改めて何うがどういった情報を分析して微増と見込んだか。またある調査では、殆どの都内の市町村が減少に転じているにも関わらず、東村山市の人口は増加するとの結果だった。当市の分析と違いがあるか。</p> <p>② 直近の人口動態は微減傾向にある。これは一過性なのか等、どういった分析をしているか。増・減の両者の特徴的な傾向はあるのか。 1) 年代別 2) 世帯別 (単身か家族か) 3) 町別 4) 自然増減 など</p> <p>③ 周辺他市の人口動態はどんな状況か。いわゆる総合計画等との乖離は発生しているか。</p> <p>④ 分析が当市にとって良くない結果だとすると、様々な計画に影響が出ると予測される。各分野別に何う。</p> <p>⑤ この人口減少傾向<sup>に</sup>対し、市長の所見を何う。</p> <p>⑥ 人口減少の分析結果の如何に関わらず、「生活充実都市」を目指されているが、当市への定住意向の調査結果 (主要結果) を経年変化で何う。</p> <p>⑦ 調査結果を数値にする事は当然大事であるが、更に深掘りした分析を行うべきと考えるが見解を何う。</p> <p>⑧ 青年層、学生などが当市に魅力を感じて住んでもらえるような施策も必要と考える。大学・学生との繋がり方について市の見解を何う。</p> <p>⑨ 総括として、上記課題について市長に何う。</p>